世界主要各国の化学物質規制、調査方法、管理方法を分かりやすく解説!

1名分料金で 2人目無料

研究開発者が知っておくべき

化学物質規制と製品含有化学物質管理

- ◆日時:2025年08月29日(金)12:30~16:30
- ◆会場:江東区産業会館第2会議室(本セミナーは会場受講のみとなります)
- ◆受講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)
 - ※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
 - ·1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円(税込)
 - ・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円(税込)

※都合上内容を省略して掲載しております。詳細はHPをご覧下さいませ。

セミナーお申込みFAX

03 - 5857 - 4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

☆講師

Amu(株) 代表取締役中小企業診断士・キャリアコンサルタント 小泉 岳利 氏

☆趣旨

SDGsの広がりに伴い、持続可能な世界を実現するために、有害性のある/なしに関わらず化学物質についての規制が広がっています。REACHやRoHSといった欧州発の化学物質規制は、グローバル市場において事実上のデファクトスタンダードになっていますし、フタル酸エステル類やビスフェノールAなどは、いくら日本の工業会などが有害性の低さをアピールしても、使用や含有を禁止する動きが進んでいます。最近では、鉛化合物やカドミウム化合物といった明らかに毒性のありそうなものだけではなく、EDTAやセルソルブ系の溶剤、ヘキサンなどといった、研究室などでよく見かける化学物質も規制や制限が始まっています。貴社の製品が規制に該当する化学物質を含んでいた場合には、代替品・改良品の提供が必要になったり、最悪の場合は他社の製品に置き換えられてしまったりすることもあります。また、せっかく開発した新製品が無駄になることも考えられることから、研究開発部門であっても化学物質規制と無関係ではいられません。このセミナーでは、主に企業の研究開発や製品企画の担当者の皆様に、主な化学物質の規制及びそれらの調査方法、並びに製品含有化学物質の管理方法についてわかりやすくお伝えします。またそれにより企業の皆さまは規制対応の事前検討や準備を進めることができ、規制発効の際に慌てずに対応することができるようになります。

☆プログラム

- 1. はじめに~化学物質の規制動向を把握しておく必要性
- 2. 化学物質管理のこれまで
 - ・ハザード管理の時代 ・Agenda21、WSSD、GHS
- 3. 主要各国の現在の規制
- ①欧州(EU)
- •REACH •SVHC •CLP •WEEE指令/RoHS指令
 - ・玩具指令 ・欧州固有の注意点
- ②北米
- ・TSCA ・労働安全衛生法(OSHA) ・北米固有の注意点
- ③東南アジア
 - ○中国 ·新化学物質環境管理弁法(C-REACH)
 - •危険化学品安全管理条例
 - ·電器電子製品有害物質使用制限管理弁法(C-RoHS)
 - ○韓国 ·化学物質管理法 ·化学物質登録·評価法(K-REACH)
 - ・電気・電子製品および自動車の資源循環に関する法律(K-RoHS)
 - ・韓国の傾向

- 〇台湾 ·毒性化学物質管理法 ·職業安全衛生法
- ・台湾工業規格(CNS15663)(RoHS相当) ・台湾の傾向
- ○その他の東南アジア諸国④日本
- ·化審法(J-REACH) ·資源有効利用促進法(J-Moss)
- 4. 新たな規制の動き
- ・内分泌かく乱物質 ・ナノマテリアル ・化学物質の混合毒性
- ・マイクロプラスチック ・残留有機汚染物質 ・バイオサイド
- ・海洋廃棄プラスチック ・環境残留性がある医薬汚染物質
- ・今後予想される世界の変化
- 5. 化学物質規制動向の調査方法
- ・欧州(EU)・北米 ・東南アジア ・日本
- 6. 製品含有化学物質の管理方法
 - ・企業の中での役割分担イメージ・体制作り
- ・JIS Z 7201:2017 ・製品含有化学物質管理ガイドライン 第4.0版
- 7. さいごに

『化学物質規制』セミナー申込書

会社·大学 住 所	〒				セミナーの受講申込みについて必要事項をご明記の上、弊社へFAXでお申込み下さい。	
電話番号			FAX		弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしま して受講券、請求書、会場の地図をお送りい たします。	
お名前		所属•役職		E-Mail	セミナーお申込み後のキャンセルは基本的 にお受けしておりませんので、ご都合により出	
1					席できなくなった場合は代理の方がご出席く ださい。	
2					お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧下さい。 ⇒ https://www.rdsc.co.jp/pages/entry	
					■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	

□Eメール



会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

株式会社R&D支援センター

□ 郵送

〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-24 VORT東陽町ビル7階 TEL)03-5857-4811 FAX)03-5857-4812 URL)https://www.rdsc.co.jp/

⇒ https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy